

＜本郷キャンパス＞
学校法人文京学園
文京学院大学経営学部・外国語学部・
保健医療技術学部／大学院／文京学院
大学生涯学習センター
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661 生 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

＜ふじみ野キャンパス＞
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
＜駒込キャンパス＞
文京学院大学女子高等学校／文京学院
大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
☎03-3946-5301



平成 30 年(2018 年)
10 月 31 日
第 744 号
発行
学校法人文京学園
http://bgu.ac.jp

中学バレーボール部「都知事」「区長」に優勝報告

中学バレーボール部が、関東ブロック第一代表として8年連続25回目の出場を果たした「第48回全日本中学校バレーボール選手権大会」(8月21日～24日／島根県松江市)で、11年ぶり6回目の「優勝」を勝ち取りました。
それを記念して、中学バレーボール部員一同、小池百合子都知事と成澤廣修文京区長に優勝報告を行いました。

10月4日、中学バレーボール部員34名が、小池都知事に「全国優勝の報告」をするため都庁を訪ねました(引率＝水上茂中高一貫部校長、高石和一人貫部副校長、天野嘉之監督・教諭、嶋田栄司教諭、保護者代表者)。
まず、水上校長が優勝報告を行い、続いて、野都知事に「全国優勝の報告」をするため都庁を訪ねました(引率＝水上茂中高一貫部校長、高石和一人貫部副校長、天野嘉之監督・教諭、嶋田栄司教諭、保護者代表者)。
小池都知事は「先輩たちが長い間紡いできた女子中学校のバレー部の伝統を、皆さんはしっかりと守り、また新しい歴史を作り出した」と優勝を称えました。さらに「東京2020大会で日本の女子バレーボールが優勝できるように応援を。そして、今回優勝した



小池都知事からサイン入りバレーボールを贈られた野口主将(左)



小池都知事と共に笑顔で



成澤区長(前列左)から祝福

大学

教職員表彰授与式開催

学園創立記念日の10月23日、本郷キャンパスのサロン・ド・フンキョウに於いて、島田輝子学園長、田中昌和理事長、工藤秀機学長、竹内秀和法人事務局長

はじめ学園関係者が見守る中、教職員表彰授与式が行われました。
これは、退任した教員、または退職した職員で、学園の発展に永年にわたって貢献した方々の功績を称え表彰するもので、次の方々が表彰されました。

- ★原信先生(経営学部名誉教授・元経営学部学部長)
- ★鶴川武久先生(経営学部名誉教授・元理事・元大学副学長・元経営学部学部長)
- ★福留民夫先生(経営学部名誉教授)
- ★山岡淳先生(元人間学部学部長)
- ★羽鳥博愛先生(元短期大学副学長・元外国語学部学部長)
- ★野口昭吾先生(短期大学名誉教授・元短期大学学長)
- ★小玉兼昭先生(元高等学校校長)

大学

米国提携大学より副学長ら来校

10月8日、本学と包括協定・交換留学協定を結ぶ米国セントジョンス・セン

ヤード・アイス副学長と、国際教育センターのケヴィン・クレンシー所長が本郷キャンパスに来校しました。

- ★若林良美先生(元高等学校校長)
- ★服部豊先生(元高等学校校長)
- ★島田輝子先生(元高等学校校長)
- ★若林良美先生(元高等学校校長)
- ★服部豊先生(元高等学校校長)
- ★島田輝子先生(元高等学校校長)



アイス副学長夫妻とクレンシー所長を中央に囲んで

協同組合との協働で商品化した「かみしもどーる」(文京オリジナル版)を贈り、島田学園長は感謝の言葉をもちて先生方の功績を称えました。

読解力低下と「外化」

Green Spirits

経営学部
学部長・教授
絹川直良



本年度に発行された新井紀子(国立情報学研究所教授)「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」は、実際に高校生を対象に実施された「基礎的読解力調査」他をもとに様々な示唆を与えてくれる。

本年度に発行された新井紀子(国立情報学研究所教授)「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」は、実際に高校生を対象に実施された「基礎的読解力調査」他をもとに様々な示唆を与えてくれる。

高度な読解力と常識、人間らしい柔軟な判断が要求される分野は、(人工知能)が代替できない。ところが、基礎的な読解力に問題のある高校生・大学生が少なくないことが示されている。実際に、周囲の学生に同じ問題を解かせてみると、新井教授の指摘通りである。問題文中空欄が示されると、そこまでの問題文を読まずに最初から空欄部分だけみて答えようとする学生が少なくない。

AIでもできることに力を注ぐばかりで、AIができないことはおききになりつつあるのが現状である。真面目な学生でも、資料を一字一句コピーすることはできても、要領よく要約できる学生は少ない。ポイントは、「外化(アウトプット)」だろう。読んで、聞いたことを、書き、話し、他の学生たちと話し合うことで、理解が深まり定着する。書くだけでは外化が不十分に行われているのである。

通常の講義スタイルの授業でもそのような仕組みを取り入れることは可能だろう。私自身、富山大学の橋本勝教授の「橋本メソッド」の授業を参観させていただいていたが、4月から外化を促す授業へと思い切った切り替えを試みている。

さらに、そのような授業を受け入れる素地を入学後早い段階で学生の側に作ることも必要だろう。

昨年6月より、権限をとまなわなないリーダーシップを修得する正課授業や正課外活動の取り組みを試みている。早稲田大学の日向野幹也教授は、リーダーシップの三要素として①目標設定(共有)、②率先垂範、③同僚支援を挙げるが、特に同僚支援に目覚めた学生たちの存在は、教員によるアクティブラーニングの試みを容易にしよう。

新井教授は、読解力を付ける難しさに触れつつも諦めない。私たちも、入学してくる学生一人ひとりの特質やその推移、成長を見極めながら(エンロルマネジメント)、工夫する必要がある、その結果、学生たちが成長を示してくれればと思う。

「学園祭」「大学祭」華やかに

9月29・30日は、駒込キャンパス（中高）「文々祭」、10月20・21日は、本郷キャンパス「文京祭」とふじみ野キャンパス「あやめ祭」が開かれ、多くの方々が来校しました。

駒込「文女祭」

「花天月地」をテーマに掲げた学園祭に2594名が来校。あいにくの空模様の中、中高生の元気でバワフルな声が、駒込キャンパスに響き渡りました。

研究発表・展示

「文女祭」が誇る活動の一つは、個々が取り組んできた研究発表・展示です。中1から中3の「グローバルスタディーズコース」「アドバンストサイエンスコース」「スポーツサイエンスコース」では、文芸エンタテインメントでは、文化遺産・統計・二重跳びの研究など、各コースの特徴ある発表が熱心に行われました。

部活動

書道部は今年初めて「揮毫（きこう）」を行い、迫力（せりき）の筆さばきを披露（ひょうぎ）した。拍手喝采（かっさい）を浴びました。

放送部は「生アフレコ」に挑戦。かるた愛好会（かい）は実際に力（ちから）の試合（しあひ）を披露（ひょうぎ）。茶道部のお前（まへ）、天文部、写真部、美術部・科学部、華道部の展示も同時（どうじ）に開催された。軽音楽部・ギター部も同じく演奏（えんそう）を楽しんだ。

校庭、ホール・音楽室

先端科学研究の成果を披露する作品が展示されました。

「育センタ―」は、本校の先導科学研究の成果を披露する作品が展示されました。「中興美術科」も美術・書写の素晴らしい作品が展示されました。

部活動

販売

高きフランスによる模倣店をはじめ、調理部・紅茶同好会のマドレーヌとフエ茶、国際交流委員会とフエアトレッドコピー、カフェエテリアでのランチ、経営・模倣店ロジエクトののびのび出山、CIP部のオオロジナマツガや文豪祭本、フレームズと英文塾実行委員会によるチャリティオークスも評判。後援会「ふじ会」も大人気のバザーを開催しました。

受験生案内・生徒会・鏡友会

受験生案内では、入試相談室、中学の制服試着・eラーニングの「すらら」体験で来校者に本校の魅力を発信しました。

生徒会は本部として、インフォメーションや落し物などに対応。同窓会・鑑友会」は笑顔で卒業生を歓迎しました。

本郷「文京祭」

「party、今年の文京祭は何かが違つて」をテーマに掲げた大学祭に1913名が来校。今年はステージを野外に設置し、二日間様々なイベントがくり広げられました。

文実企画

文部省実行委員会4つの企画。▼【入試広報センター】による「進学相談会」外国人語学部・経営学部・人間語学部・保健医療技術学部について専門スタッフが対応している▼【新文明の「個別展示」】▼「新文明の「旅」プログラム実行委員会」は、中央アジアについて展示・説明。熱心に聴き入る人々。保護者の姿もありました。▼国際交流部は、元々留學生とのゲームも交えて高校生を迎えました。▼経営学部・外国語学部の各々

各クラブ・
団体ステージ発表

Glee Club、軽音有志
チアリーディング部、ダンス
部、吹奏楽部、軽音楽部な
による演奏、パフォーマンス
ス、生涯学習センターのオ
カリナ講座受講生、講師に
よる演奏が披露されました
併設高校の演劇部は、清
らかな歌声のミュージカル
を仁愛ホールで熱演。初の
大学公演となりました。ま
た、企画局によるビンゴや
抽選会が大学祭を盛り上げ
ました。

販

販売

特別企画

日本ウズベキスタン協会
会長の嶋信彦氏を講演会議
師に迎え、第3回「新・立
明の旅」プログラム記念セ
ッション（本学・文京学院
校友会共催）がウイungk
ールで行われました。第一
部では、学生と留学生に
対するパネルディスカッシ
ョンを開催しました。

ふじみ野「あやめ祭」

「十人十色・みんな違って、みんないい」をテーマに掲げた大学祭に3918名が来校。人間学部地域連携センターBICSを有するふじみ野キャンパスは、常に幼小中高生地域の方々が来校するなどのため、「開かれたあやめ祭」としての企画が目押しでした。

展示・体験

作業療法学科メンバーは、作業療法の作品作りを展示・製作指導。創作サークルパレットは、作品制作品体験と作品販売。「新文明の旅」プログラム「てっぺんフォーラム」委員会は展示・説明。写真サークルは展示とポストカードを販売。

舞台発表

【譜名】 演劇サークル三
クロシホ、Witch rino Bit
LEOPARDSが、見事なパ
フォーマンスを披露。【ア
トリウム】アカペラサー
クル、日本舞踊研究会、お
しの会、吹奏楽部BBの
歌声・舞・パフォーマン
ス・演奏、そして吹奏楽部

中高

大学

どで、大人も子どもと井
に熱中。【お化け屋敷】大
人気で常に行列。何度もチ
ヤレンジする親子も。【フ
リマーケット】毎年恒例、
掘り出し物たくさん的人气
企画。【絵子唄】ふじみ野
幼稚園児が描いた絵を展示

露。おもちゃはくぶつた
ん、バネルシアターサークル
ピノキオには子どもたち
が興味津々。携帯回収プロ
ジェクト、金子ゼミの卒業論
文中間発表もありました
人間学部同窓会「ふじみ野
会」は手芸を通じて来校者

が会場を盛り上げました。キャラクターショー、俳優・女性アイドルのトーク・ライブショーも実施。最終日にはビンゴで楽しみ、ファッションショーでは投票で優勝者を決定。楽しい2日間を締めくくりました。



幼稚園
みんなで力を合わせた運動会

(写真一部提供：スタジオ・トナミ)

ふじみ野幼稚園

10月7日、真夏の暑さが戻ったような太陽のもと、本学第一グラウンドでもふじ野幼稚園の運動会が行われました。

小栗俊之園長の挨拶の後、年長組は「ふじみのクエストⅢ」、年中組は「OH！すし」、年少組は「へいっ！秘伝年少ラーメン一丁あがり！」のプログラムでリズムに合わせて元気に踊りました。

未就園児競技では、120名の未就園児が親子と一緒に走って楽しみました。年長組親子もデカパンをはいて走り、次に繋げるレーヌにチャレンジ。

かけっこは、年中組が力走。卒園した小学生140名も、迫力の走りを披露。年少組は、家族をめぐって一年懸命走りまわった、歌にわたせて力士の型を真似て親子で楽しみました。

親子競技は年中組は、大声援のなかでいっぱい綱引を頑張りました。最後の年長組リレーでは、力を振絞って力走する姿に、大声援大きな拍手が送られました。

各競技の紹介は、全て園児が担当。競技の合間には、年長児がボウリングを持ってそれらの組に差し出し成長を感じられるワーに満ちた運動会となりました。



文京幼稚園

雨模様が心配された10月13日、成澤廣修文京区長、島田輝子学園長、元教員らを賓に、文京幼稚園の運動会が園庭で行われました。

入場門から元気よく入場した全園児は、益田薫子園長の話の後、楽しく体操。競技は、年少から上からスタートしました。年中は、前転の後、平均台を上手に渡り、跳び箱を越えました。

リズムでは、年少組がこぶたの囀を被って踊り、年長組は、バラバールンを使って様々な技を披露。会場が大きな拍手が送られてきました。未就園児も親子体操を楽しみました。年中組は、赤・黄・青のマントをまわしてダンス。年少・親子遊では、お父さん・お母さんに高い高いをしてもらい、園児は大喜び！

年長組は、マツトで前転、側転の後、4段・6段の跳び箱、逆上りに挑戦。中には両足かけを10回披露する園児もいて、大きな拍手を浴びました。年中組は、3種類の大きな返りボールを習得しなれたので、つてバシしました。

その他、年長組親子競走、小学生競技、年中組の玉入れ、年長組の庄巻のり、レールが行われ、年中組親子のもらい体操で楽しんだ運動会は終。競技紹介も年長児が担当し、運動会を盛り上げました。



大学 BICS「ハロウィンパーティ」開催

本学の地域連携イベント「BICS」は、ボランティア講座の開設やボランティア情報の提供やボランティア情報を中心に、ボランティアによる福祉サービスを必要としている地域の方と、社会貢献に意欲的な学生とで

地域の方々をどうなる役割を担い、8つのプログラムを展開しています。

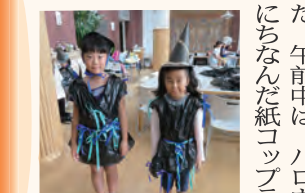
そのひとつ「レッツゴーまわるひの森のメンバー」が10月6日、ふじみ野キャンパスで第3回ハロウィンパーティーを開催しました。午前中は、ハロウィンにちなんだ紙ツッランタ

や、ビニール袋を使って衣装を作成。午後は、手作りの衣装と折り紙で作ったお化けを着けて、フルーツバスケットや知恵の輪などのゲームをして楽しみました。

企画担当の狹野真矢さん（人間学部児童発達学科3年）は「参加した17名の子どもたちは、私たちが用意した遊び以外に自発的に遊びを見つけて楽しんでくれた」と目標達成を喜びました。

ハロウィンの衣装を作る子どもたち

手作りの衣装で



校長宛の認定書

文科省から、2012年にスーパーサイエンスハイスクール(SHS)指定、2015年にスーパーグローバルハイスクール(SGH)指定を受け、それぞれの分野の探究活動にも積極的に取り組んできた。

2018年度は、高校1年生が4月のオリエンテーションで「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」について話を聞き、その後「総合学習「探究の技法」」の中でSDGsについて探究活動に取り組み、9月29・30日の学園祭でポスター発表も行いました。

このような形で、これまで

「淑徳大学・文京学院大学共催公開講座2018」が、10月6日は本学ふじみ野キャンパス、10月13日は淑徳大学埼玉キャンパスで開催されました。

初日のテーマは「身近な自然の楽しみ方」で、43名が参加。まず、本学環境教育研究センターの森下英美子研究員が「身近な植物の楽しみ方」を私たちが日常で使っている植物の図鑑「Part II」をタイトルに、マイ図鑑の作り方を説明しました。続いて、受講者が学内の雑木林に向かい、番号がつけられた樹木の中から一つを選んで観察。植物図鑑で種名を調べた後、図鑑制作に使う葉・枝・実などを集めました。



図鑑の作り方を説明する森下研究員



学内の雑木林で草花の観察



受講者に笑顔で講義する木村准教授



仮装した子どもたちが次々と



学生も仮装して対応



「おかめ新聞」創刊号二部

「市民憩いの森保全部会」メンバーにより、観察結果の判定を受けた受講者たちは、採取した葉や実を台紙に貼り、思い思いの言葉を添えて世界で一つだけの図鑑を完成させました。

第2部では、本学人間学部児童発達学科の木村学准教授が「人と自然の親和性」をテーマに、身近な自然の楽しみ方について、43名が参加。まず、本学環境教育研究センターの森下英美子研究員が「身近な植物の楽しみ方」を私たちが日常で使っている植物の図鑑「Part II」をタイトルに、マイ図鑑の作り方を説明しました。続いて、受講者が学内の雑木林に向かい、番号がつけられた樹木の中から一つを選んで観察。植物図鑑で種名を調べた後、図鑑制作に使う葉・枝・実などを集めました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

大学「淑徳大学・文京学院大学共催公開講座」で学ぶ

「淑徳大学・文京学院大学共催公開講座2018」が、10月6日は本学ふじみ野キャンパス、10月13日は淑徳大学埼玉キャンパスで開催されました。

初日のテーマは「身近な自然の楽しみ方」で、43名が参加。まず、本学環境教育研究センターの森下英美子研究員が「身近な植物の楽しみ方」を私たちが日常で使っている植物の図鑑「Part II」をタイトルに、マイ図鑑の作り方を説明しました。続いて、受講者が学内の雑木林に向かい、番号がつけられた樹木の中から一つを選んで観察。植物図鑑で種名を調べた後、図鑑制作に使う葉・枝・実などを集めました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

中高 スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト 本校が「ユネスコスクール」に認定

本校は、文部科学省国際統括官付・日本ユネスコ国内委員会事務局を通して、パリのUNESCO本部より7月27日付けで「ユネスコスクール」の認定を受けました。それを励みに、生徒たちはさらに個々の研究を高めています。

「ユネスコスクール」は、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校で、現在、世界180カ国以上の国・地域で1万校以上あります。日本国内の加盟校数は、「国連持続可能な開発のための教育の10年」が始まった平成17年から飛躍的に増加して、平成29年10月時点で1034校となり、1カ国当たりの加盟校数としては、

世界最大となっています。本校は、1991年よりアメリカへの語学研修を開始。1993年にはニュージランド研修も加わり、同時に海外からの長期留学生受け入れも始めました。その後、本校からの長期留学生や交換留学生の派遣、そして海外修学旅行(研修旅行)などの国際交流を通して、異文化理解教育を推進してきました。

文科省から、2012年にスーパーサイエンスハイスクール(SHS)指定、2015年にスーパーグローバルハイスクール(SGH)指定を受け、それぞれの分野の探究活動にも積極的に取り組んできた。

2018年度は、高校1年生が4月のオリエンテーションで「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」について話を聞き、その後「総合学習「探究の技法」」の中でSDGsについて探究活動に取り組み、9月29・30日の学園祭でポスター発表も行いました。

このような形で、これまで

「淑徳大学・文京学院大学共催公開講座2018」が、10月6日は本学ふじみ野キャンパス、10月13日は淑徳大学埼玉キャンパスで開催されました。

初日のテーマは「身近な自然の楽しみ方」で、43名が参加。まず、本学環境教育研究センターの森下英美子研究員が「身近な植物の楽しみ方」を私たちが日常で使っている植物の図鑑「Part II」をタイトルに、マイ図鑑の作り方を説明しました。続いて、受講者が学内の雑木林に向かい、番号がつけられた樹木の中から一つを選んで観察。植物図鑑で種名を調べた後、図鑑制作に使う葉・枝・実などを集めました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

大学「子ども大学ふじみの」で笑顔弾ける

本学・東入間青年会議所・ふじみ野市が主催する「子ども大学ふじみの」の授業が8月22日、9月1日、9月29日にふじみ野キャンパスで行われ、延べ46名の子どもたちが学生として出席しました。

これは、異なる学校に通う4年生から6年生の子どもたちが本学で学ぶもので、本学教員や地域の専門家が次の3つの学びから知的好奇心を呼び起こすというテーマで授業を進めました。

「子ども大学ふじみの」の授業が8月22日、9月1日、9月29日にふじみ野キャンパスで行われ、延べ46名の子どもたちが学生として出席しました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。

子どもたちが身近な事象や動植物に対する感動を伝え合い、共感し合うことを通して、自分から関わりを深め、自然の恵みを感じ、自然の循環を大切にする心を育てることを目指しています。

2日目のテーマは「日本とイギリス 旅行の楽しみ方」。淑徳大学経営学部観光光経学科の吉田雅也准教授が「イギリスの宿の楽しみ方」をテーマに、受講者と一緒に「イギリス人は「歩く」をテーマに講演。受講者一同、泊まる楽しさ、歩く楽しさについて学びました。



高畑学長から修了証書授与(写真提供=ふじみ野市役所)



新書コーナー

『絶対役立つ社会心理学 日常の中の「あるある」と「なるほど」を探る』
監修：藤田哲也、編著：村井潤一郎(人間学部教授)／ミネルヴァ書房(2018年10月30日)／2,500円+税
日々の学生生活や社会人生活の中で社会心理学がどのように役立つのかを実感できるように、日常的なトピックを取り上げながら、基本的な知見を解説する教科書・入門書。古典的な研究から最新の研究までをふまえて、私たち自身や私たちを取りまく世界を見直すための多様な視点を提示。

絶対役立つ社会心理学

